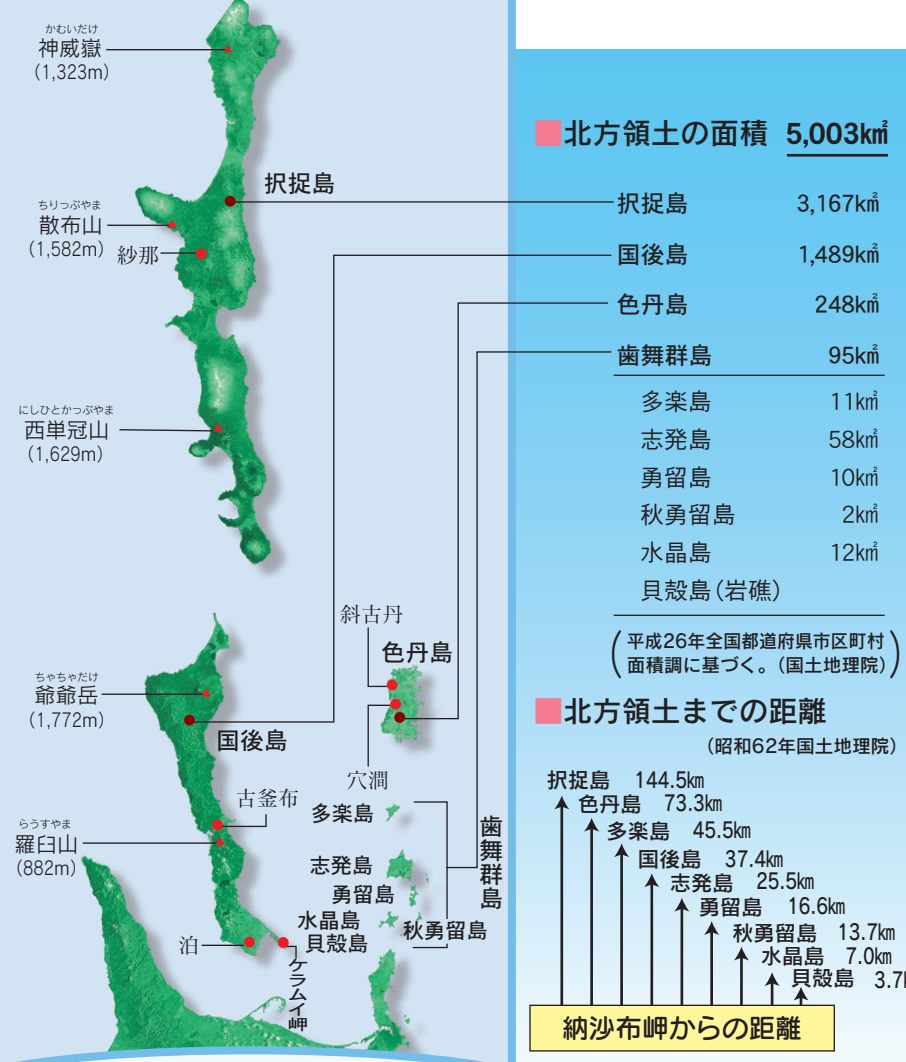


- 北方領土は、北海道本島の北東の洋上に連なる島々です。
- 歯舞群島は、納沙布岬の延長線上3.7kmの沖合から北東に点在する小島からなっています。
- 色丹島は、納沙布岬の北東73.3kmに位置しています。
- 国後島は、根室半島と知床半島に抱かれるような形で、別海町沖16kmの地点から北東に位置する全長122kmの島です。
- 択捉島は、国後島の北東22.5kmに位置する全長204kmの島です。

●北方領土の元居住者数  
**17,291人**

択捉島	3,608
国後島	7,364
色丹島	1,038
多楽島	1,457
志発島	2,249
勇留島	501
秋勇留島	88
水晶島	986

北方領土には、終戦時3,124世帯、17,291人の日本人が住んでいました。(平成20年3月千島歯舞諸島居住者連盟調べここに掲げる元島民の人数は、昭和20年8月15日現在において6月以上北方地域に居住していた者の数であり、同日まで6月未満居住していた者及び同日後同地域で出生した者の数は含まれていません。)



■あなたがお住まいの都道府県・市町村は？  km<sup>2</sup>

■あなたの家から最寄りの駅や学校・会社までは？  km

**北方館** 北緯43°22'58" 東経145°49'18"  
北方館(納沙布岬)から見た北方領土の島々

**北方館**

〒087-0165 北海道根室市納沙布36番地 望郷の岬公園内  
TEL 0153-28-3277 FAX 0153-28-3280

**利用案内**

開館時間／午前9時～午後5時  
(ただし、11月16日から3月15日の間は午後4時30分まで)

休館日／毎週月曜日  
(5月1日～10月31日まで無休)  
(月曜日が祝日及び振替休日の日を除く。)

／年末年始  
(12月31日から1月5日まで)

入館は無料です。

**主な展示品 収蔵品等**

- 【魚類剥製】18点 【古地図】5点
- 【条約・陳情書】5点 【古文書】18点



北方領土を4つのブロックに表現し、それが互いに連なり合って、大きなかけ橋となり、領土返還を祈るゲートとして表現したものです。  
高さ●12.62m 長さ●35m 幅●3.4m～5.0m (昭和56年9月建立)

**交通案内**

根室駅前  
バスターミナルより  
定期バスあり  
距離23.5km  
所要時間45分

中標津空港から約102km  
車で約1時間40分

釧路空港から約150km  
車で約2時間30分

オホーツク海 北海道立北方四島交流センター 納沙布岬  
春国島 原生野鳥公園 根室  
至釧路 国道44号線 J R花咲線 温根沼 花咲港 スワン44 太平洋 落石岬

独立行政法人  
**北方領土問題対策協会**  
〒110-0014 東京都台東区北上野1-9-12  
住友不動産上野ビル 9階  
TEL03-3843-3630 FAX03-3843-3631  
ホームページアドレス <http://www.hoppou.go.jp/>



**北方館**



エリカちゃん  
北方領土イメージキャラクター



納沙布岬からの北方領土

四島の未来 心かよわせ 返還へ



## 北方館 (昭和55年8月開館)

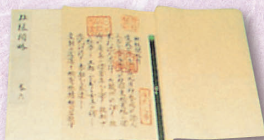
北方館は、北海道根室市の根室半島最東端・納沙布岬に位置しており、北方領土返還要求運動の原点の地で、目の前に広がる日本固有の領土である北方の島々を望みながら、北方領土問題の発生の状況や歴史的経緯を展示資料によってご覧いただき、返還運動への皆様の深いご理解とご参加を得て、より一層の国民世論の高揚を図り、一日も早い北方領土の返還実現をめざすために開設しております。

## 望郷の家 (昭和47年4月開設)

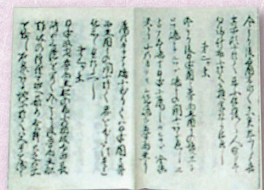
第2次世界大戦後、北方領土の島々を追われた元島民の心の拠り所として開設され、戦前の島民の生活関連資料や島々における街並みや住居表示を折り込んだ地図などが展示されています。



## ◆歴史が語る北方領土



北極間略 (ホクサプンリヤク)



日魯通好条約 (1855年・下田条約)

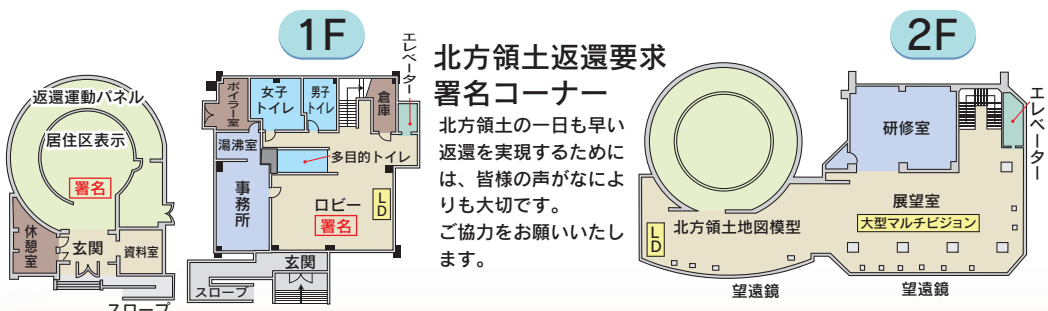


辺要分界図考 (へんようぶんかいずこう) 近藤重蔵写真図 (1804年)



北方領土について記述されている古文書

第二ヶ条 今より後日本国と魯西亜国との境「エトロプ」島と「ウルップ」島との間に在るへし「エトロプ」全島は日本に属し「ウルップ」全島夫より北方「クリル」諸島は魯西亜に属す「カラフト」島に至りては日本国と魯西亜国との間に於て界を分たす是迄往來の通たるへし



### 北方領土返還要求署名コーナー

北方領土の一日も早い返還を実現するためには、皆様の声がなによりも大切です。ご協力をお願いいたします。

- 施設構成**
- 北方館**
    - 1階 ロビー・化粧室・事務室
    - 2階 展望室・望遠鏡(無料)・古地図・条約・陳情書・古文書・研修室
  - 望郷の家**
    - 1階 運動の歴史・居住区表示
    - 2階 展望室・望遠鏡(無料)・魚類剥製・北方領土地図模型
- ※全館バリアフリー (エレベーター・身体障害者用トイレ・車椅子用スロープ・車椅子完備) (チャイルドシート・ベビーキープ・フィッティングボード)



1階ロビー



2階展望室

テレビ望遠鏡



望郷の家・2階展望室



望郷の家・1階フロア



ラッコ



研修室

## 北方領土とは……!?



私たちが「北方領土」と呼ぶのは、**択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島(多楽島、志発島、勇留島、秋勇留島、水晶島、貝殻島)**などの四島です。

島の気温は、海洋気象の影響を受けて寒暑の差が緩慢です。年平均気温は4.5度程度で、月の平均気温が10度以上になるのは、6月から10月に及ぶ5か月間で、盛夏の8月は16度、夏季平均は13度ほどです。また、冬の平均気温は零下5度から6度ほどで、これは根室地方と大差はありません。

戦後、日本政府は一貫してこれら四島の早期返還をロシア(ソ連)に対して要求し続けてきました。しかし、1956年(昭和31年)、日ソ共同宣言が署名され、両国間に国交が再開されたにもかかわらず、その返還はまだまだ実現していません。

北方領土は、古くから私たちの固有の領土として受け継いできたもので、歴史的にも条約的にみても、日本固有の領土です。

北方領土問題の解決は、両国間の最大の懸案であり、日本とロシアの真の友好関係を確立するためには、四島の日本への返還を一日も早く実現し、平和条約を締結する必要があります。

そのためには、皆さん一人ひとりが北方領土問題に対しての正しい理解と認識を深めていただき、外交交渉の支えとなるよう全国民の声を結集する必要があります。



国後島の材木岩



色丹島の又古丹湾



択捉島の散布山